

# 新風

発行 神石高原町議会議員

木野山孝志 後援会

令和 4年01月10日 NO.62

発行責任者：橋迫芳隆

神石高原町父木野2953-1

ホームページ <http://www.7a.biglobe.ne.jp/~t-kinoyama/>

## 迎春

令和四年壬寅に因んで

しっかりと考え焦らず確実に一歩を踏み出す年

令和4年の元旦は、年の瀬の雪が解け、穏やかな晴天で明けました。

今年の干支は、壬寅（みずのえとら）で60の中、39番目です。

壬（じん）は十干の第九にして、五行は水性の陽、季節は冬、方位は北。

「壬」は大河や海洋の水を意味し、良きも悪きも全て飲み込む度量の大きな性質を指す。「妊」に通じ「育む」の意で新しいものが始まる。

寅（いん）は十二支の3番目で陽。五行は木の陽、季節は春。方位は東北東。

「寅」は矢の曲がり正す象で「正す」「伸ばす」を象意する。

また「瀾（ミミズ）」に通じ、暖かくなつて虫たちが動き出し、春の胎動を感じさせる状態。

「壬」と「寅」は、五行で「水生木」で「相生」の関係となる。また36年に一度訪れる「五黄の寅」年。

以上をまとめると、「壬寅」は厳し

い冬を超え、芽吹き始め、新しい成長の礎となるイメージだが、今までの常識が覆され、時代にあつた新しい常識が模索され始める年となりそう。との見方もある（東洋経済）。

その意味で「しっかりと考え焦らず確実に一歩を踏み出す年」としたい。

昨年も、コロナに始まりコロナに終わった年でした。

年が明けても、昨年から世界的に蔓延し始めたオミクロン株コロナウイルス陽性者数の増加は止まりません。「諸説」ありどう対処するか。経済対策かコロナゼロ対策か。

北京オリンピックと日中友好50周年と尖閣諸島。デジタル庁とマイナンバーカードとDX推進、ことも家庭庁、MMT理論と財務省、来夏の参議院議員選挙。

長期政権がかかった岸田首相。今年こそ政治家としての覚悟と指導力、先見性が問われます。

古より「新儀は不吉、先例は吉」と言われる。日本に生を受けた一人として真意を探りたい。

# なにがどうなる

## 12月定例会条例改正など

### おもなもの

#### <神石高原町過疎地域持続的発展計画の策定>

○現行法の「過疎地域自立促進特別措置法」が令和2年度末（R3.3.31）で期限を迎え、新たに令和3年度から12年までの時限立法として「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」が施行となりました。

過疎法は都市部との生活基盤格差是正のためハード事業が目的でした。新法では新たに都市に無い価値を更に育て発展させるための目的（人材の確保及び育成）や目標（移住・定住・地域間交流の促進など）が掲げられています。⇒こうした新法の目的を踏まえ、本町においても新たな「過疎計画」を策定しました。

#### <豊松地区町民活動拠点施設設置管理条例の制定>

○神石高原町豊松支所を、豊松地区の町民活動の拠点施設として整備し、新たに「名称・位置・施設・事業・使用料など」設置及び管理条例を定めました。

\*豊松支所をメインとし、1階に商工会豊松支所、社協・シルバーセンター、協働支援センター、図書館分室を、2階に放課後児童クラブ、巡回診療所、調理室など豊松地区の拠点施設として利用されます。

\*他の地区に於いても、財源を考慮しながら、老朽化した施設で活動している団体の事務所について拠点施設として整備する方向で検討されています。

#### <人事案件>

町教育委員任命同意（住所）神石高原町小畠（氏名）森 恵美（もり えみ）さん

#### <財産の取得>

財産の表示	(所在)神石高原町小畠 神石高原町立病院	
	(種別)医療機器及び備品	
	(細目)診察用X線一般撮影装置RADS Pro一式	全自動錠剤分包機(調剤支援システム連携費含む)
取得価格	12,012,000円	8,360,000円
相手方	住所 福山市神南辺町大字新徳田235番地	福山市吉津町12番5号
	氏名 株式会社 ミーム	株式会社 ミヤノメディックス

### 令和3年12一般会計補正予算

(単位:万円)四捨五入

費目	補正予算	補正後予算	主な内容
議会費	20	7767	
総務費	3878	35億0077	情報通信整備3355、協働のまちづくり補助440、かがやきネット350、庁舎管理240
民生費	1億1855	20億4887	子育て世帯臨時特例給付金事業4903、障害者介護1372、こばたけ保育所整備147、子供食堂50、子育て世帯臨時特例給付金事業4903(21日専決分)
衛生費	3320	26億5121	コロナウイルスワクチン接種(3回目)3404、簡水会計繰出194
農林水産費	1250	7億6985	農産物販売施設修繕163、小規模崩壊地復旧1250、人農地プラン47
商工費	229	1億7413	休業要請継続支援(スコラ・ティアガルドン)200、星居山光ケーブル520、観光振興補助金▲550
土木費	6213	7億0149	宅地耐震(盛土調査)1000、町道維持(アスファルト)2000、社会資本整備(神石トンネル復旧)2600、空き家対策(解体)275
消防費	354	4億3413	非常備消防管理経費200、豪雨災害対策90
教育費	9234	7億9193	共同調理場大規模改修9331、図書館管理運営77
災害復旧費	1624	6億4127	現年発生道路橋梁災害復旧1924
公債費		13億8634	
諸支出金	3532	3億7208	かがやきネット管理運営基金積立3532
予備費		4000	
合計	4億1509	135億8974	(歳入)国庫支出金1億6241、IRU契約収入532、寄付金3581、財調繰入3600、かがやきネット基金繰入3705、繰越金605、諸収入269、過疎対策債1億930、災害復旧債2080

### 12月補正予算

#### ○主なコロナ対策関連予算

- ・健康管理システム改修など・3回目追加接種事務経費 782万円
- ・コロナワクチン接種委託料・3回目接種委託料など 2618万円
- ・休業要請事業者経営支援 200万円
- ・コロナ感染症生活困窮者支援 30万円
- ・庁舎無線ラン整備 USB 購入 200万円
- ・子供食堂(生活困窮者支援) 50万円
- ・子育て世帯臨時給付金(2回) 9805万円
- ・星居山(光ケーブル設置) 520万円



令和3年度予算会計別総括表

単位:万円(四捨五入)

会計名	令和3年度			摘要
	9月補正後予算	12月補正	12月補正後予算	
一般会計	131億7465	4億1509	135億8974	(12/21専決)子育て臨時給付4903
特別会計	40億5719	-1785	40億3934	
病院事業会計	27億6047	73	27億6120	交付金・手数料73
合計	199億9231	3億9797	203億9028	
特別会計+病院事業会計	68億1766	-1712	68億0054	

- \* 簡易水道特別会計  
・一般修繕・整備工事  
801万円
- \* 農業集落排水特別会計  
・維持管理・測量委託  
1038万円
- \* 国民健康保険特別会計  
・高額医療補助  
1000万円
- \* 介護保険特別会計  
・介護補助交付金  
▲5530万円

新型コロナウイルス関連対策予算

主なものは前ページのとおりです。

子育て世帯臨時給付金は、R3年12月3日定例会可決分は12月22日、21日専決分はR4年1月13日に、いずれも5万円現金にて給付されました。

VI 12月補正予算額(コロナ対策) R3. 12. 3可決

(単位:万円)

区分	補正前の額	12月補正額	内コロナ対策分	補正後の額
一般会計	131億7464.8	3億6606.4	8767.3	135億4071.2
合計	131億7464.8	3億6606.4	8767.3	135億4071.2

VII 12月補正予算額(コロナ対策) R3. 12. 21専決処分

(単位:万円)

区分	補正前の額	12月補正額	内コロナ対策分	補正後の額
一般会計	135億4071.2	4902.7	4902.7	135億8973.9
合計	135億4071.2	4902.7	4902.7	135億8973.9

補正予算質問

子供食堂の実施は

**Q木野山** 予算が500万円  
で3カ月、対象者120人で  
計算すると、一人各月1回  
とすると12〜3000円の  
予算と思う。

フードバンク登録者の方  
にサービスする訳ですが、都  
会地では人口が多いので不  
特定多数で意識しませんが、  
郡部では個人が特定される  
恐れがある。

個人情報観点でこの施  
策をどのようにされるのか。  
食券のような形で自由に  
食べに行って頂く、というの  
が一番と思うがどのように  
お考えなのか。

**A赤木子育て応援課長** 個  
人情報で行きたいけど行き  
にくいという事が無いよう  
に、時間を限らないで行って  
頂く。時間を限ると注目を集  
めることも有る。

フリーな時間に営業時間  
内に食べに行って頂く事を

今は考えている。

今後は、各地域へ広がった場  
合は地域コミュニティとい  
う事で子供さんだけか高齢  
者まで含めた食堂というか、  
そういう事にもなって行け  
ば良いかなと思っている。

今回は特に事業を実現し  
こういう事をやって皆さん  
に子供食堂というものに関  
心を持っていただく事も期  
待している。

かがやきネットの更新と  
新規システムの導入

**Q木野山** 企業版のふるさ  
と納税の3000万円が財  
源となっているが、寄附側の  
意向か。

かがやきネットは基金に  
よって収支を見ているとい  
う関係で、かがやきネット基  
金への繰入という形を執ら  
れていると思うが、収入の部  
に於いては、分類計上しない  
と基金繰入でかがやきネッ  
トの運営をするという意味

合いが取れないと思うが。

**A岡崎未来創造課長** 財源と  
して、神石高原町をデジタル  
化していくうえで使って頂き  
たいのご意向を頂いている。

かがやきネットの更新とス  
マートフォンでもかがやき  
ネットを視聴し情報を取ること  
が出来れば、さらに情報をデジ  
タル化する事が進みます。  
従って寄附者の意に沿うも  
のであると考えます。

かがやきネット管理運営基金

基金積立については、財産賃  
付収入いわゆるIRU契約の収入  
をケープルジョイの決算を基  
に基金に積み立てる部分。

企業版ふるさと納税のよう  
な次の投資のために使っていく  
基金。更に過疎ソフト事業分も  
充当している。そのように、使  
い道を分けたうえで基金を積  
み立てています。

基金の令和2年度末の額は  
4億4600万となっております。

# 一般質問

## 【災害復旧について】

道路・河川の災害復旧工事に絞り、平素からの維持補修工事を含め災害復旧事業及び改良復旧事業への本町の取り組みについて基本的な考えを伺う。

## 【スーパーシティ構想について】

先般の第8回全員協議会に於いて「未来創造課」は、内閣府から再提案を求められたが、  
◇「スーパーシティ構想の再提案は行わない」◇「デジタル関連基本構想は10年後の神石高原町の姿を想定し、5年程度を目途に計画を策定していく」と報告された。

①再提案を行わないという事は、スーパーシティ構想は断念という事か。

②スーパーシティ構想の中に掲げられた11の先端的サービスの中で実現可能な事業、どうしてもやりたい事業は何か。

③11の先端的サービスの中に、「バーチャルスクール」構想があります。

現在文科省推奨の「GIGAスクール」については学習環境も整い本町も推進中であります。

電子黒板やタブレットを使用した授業の在り方が、バーチャルに発展するとき日本の教育がどのように変わっていくか。

ある意味、将来の日本、神石高原町の縮図が見えはしないか。

期待と不安が混在しています。

教育長の所見をお伺いしたい。



③義務教育においては、当面大きな変化は無い

**A教育長** 教科指導におけるICT活用とは、教科の学習目標を達成するため教師や児童生徒がICTを活用することだ。

より高い教育効果に結び付けるには、従来からの授業技術との融合が重要だ。

バーチャルスクールとは対面授業に変わってインターネットでの遠隔教育の事だ。

判断力が不可欠となり一人が学習をやり抜く力が必要となる。

義務教育においては当面現状から大きく変化する事は無いと考える。

**Q木野山** 教育は情報ではないので、リアルに触れ合う事の価値が重視される分野ではないか。

ですから教育は、急がないで、少しずつやって欲しい。というのが私の気持ちだ。

差への対策は。

**A町長** 使える人、使えない人が出てくる。それは一定程度やむを得ない。

全員が使えるまではやらないという事ではない。

使えない人へのサービスが今より落ちるとか、今のサービスを受けられないという事ではない。

今のサービスを維持しながら使える人は今よりもっと便利になる。そういった人をどんどん増やして行きましょう。というのが私の考えです。

その差を埋めるために、研修会を行うとか民間と連携して使った事をどんどんやって、その差を縮めていく事が一番重要で

それが行政の役割だと思う。

**Q木野山** 私は、DXの推進は、一番に個人情報セキュリティ対策であると思います。これは最終的には、町民が国（政府）あるいは町をどれだけ信用するかにかかっている。一番目には、このデジタルバイド対策だと思っております。

これが解消されるという確信・信用が無ければなかなか町民からのGOサインが出ないのではないかと。どうしても疑心暗鬼な部分が出てくる。

焦らず、具体的な政策を説明頂きたい。町民が町長の言葉をしっかりと信ずるところまで持って行ってほしい。

必要となれば改良復旧事業の取り組みも行う

**A町長** 道路などの維持修繕は引き続き取り組む。近年は異常な降雨により修繕箇所が増加している。再被災しないよう修繕に努める。

災害復旧事業は3年以内の復旧が原則だが、大規模災害でなければ早期の復旧に努める。

災害個所のみでの復旧では復旧効果が図れない場合は、補助率が下がる場合があるが、関連事業の活用も行う。

**Q木野山** 川の浚渫は必要な箇所が何か所もある。その辺りからでも取り組んで頂きたい。

**Q木野山** インターネットなどの情報通信技術を使える人と使えない人との間に生じる情報格